

2019年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2019年2月13日

上場会社名 株式会社スパンクリートコーポレーション 上場取引所 東
 コード番号 5277 URL http://www.spancretecorp.com
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 浮田 聡
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部長 (氏名) 井上 卓郎 TEL 03-5689-6311
 四半期報告書提出予定日 2019年2月13日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切り捨て)

1. 2019年3月期第3四半期の業績 (2018年4月1日～2018年12月31日)

(1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第3四半期	3,270	26.8	185	△18.1	202	△16.8	172	△7.9
2018年3月期第3四半期	2,580	55.2	226	435.9	243	347.7	186	550.6

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第3四半期	22.30	—
2018年3月期第3四半期	24.22	24.21

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第3四半期	8,157		6,531			80.1
2018年3月期	8,107		6,500			80.2

(参考) 自己資本 2019年3月期第3四半期 6,531百万円 2018年3月期 6,500百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期	—	—	—	8.00	8.00
2019年3月期	—	—	—		
2019年3月期 (予想)				8.00	8.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2019年3月期の業績予想 (2018年4月1日～2019年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,273	25.9	233	△2.7	250	△3.9	210	1.8	27.20

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※業績予想の修正については、本日 (2019年2月13日) 公表しました「2019年3月期通期業績予想 (非連結) の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料6ページ「2. 四半期財務諸表及び主な注記(4) 四半期財務諸表に関する注記事項(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年3月期3Q	9,332,400株	2018年3月期	9,332,400株
② 期末自己株式数	2019年3月期3Q	1,611,919株	2018年3月期	1,611,918株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2019年3月期3Q	7,720,482株	2018年3月期3Q	7,716,424株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業務等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(日付の表示方法の変更)

・「2019年3月期 第1四半期決算短信」より日付の表示方法を和暦表示から西暦表示に変更しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
第3四半期累計期間	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	6
(四半期損益計算書関係)	6
(セグメント情報等)	7
3. その他	7
継続企業の前提に関する重要事象等	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間における我が国の経済は、雇用環境及び企業収益の改善等が続き、個人消費に回復の兆しが見られるなど、穏やかな回復基調で推移しており、海外における米国や中国及び欧州各国の政治情勢の変動や金融政策動向等から先行き不透明感があるものの、全体としては穏やかな成長を維持しています。

この間、建設業界におきましては、市場環境は東京オリンピック関連工事が本格化するものの、資材価格・エネルギーコスト・輸送価格が高騰し、建設技能労働者不足等による労務単価の上昇する経営環境が続いています。このような状況下で当社の当第3四半期累計期間の業績は、スパンクリート事業は過去の販売低迷期に受注した物件の取引が増加したこと、資材価格、エネルギーコスト、輸送価格の高騰や労務単価の上昇があったものの、生産効率や採算性の改善及び新規に受注した大型駐車場案件の貢献もあり増収増益となりましたが、不動産事業で賃貸しています岩瀬工場の排水設備の改修費用を計上した為減益となり、売上高3,270百万円(前年同四半期比26.8%増)、営業利益185百万円(前年同四半期比18.1%減)、経常利益202百万円(前年同四半期比16.8%減)、四半期純利益172百万円(前年同四半期比7.9%減)となりました。

事業別にみますと、主力のスパンクリート事業は、過去の販売低迷期に受注した物件の取引が増加したこと、資材価格、エネルギーコスト、輸送価格の高騰や労務単価の上昇があるものの、生産効率や採算性の改善及び新規に受注した大型駐車場案件の貢献もあり、売上数量は前年同四半期比49.5%増加し、売上高は3,037百万円(前年同四半期比29.4%増)の増収、営業利益は107百万円(前年同四半期比1.7%増)となりました。他方不動産事業は、オフィスビル4棟の賃料収入が安定収益源となっておりますが、賃貸しています岩瀬工場の排水設備の改修費用を計上した為、売上高233百万円(前年同四半期比0.3%減)、営業利益77百万円(前年同四半期比35.4%減)となっております。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

当第3四半期会計期間末の総資産は、前事業年度末に比べ50百万円増加し8,157百万円となりました。

流動資産は、54百万円増加しておりますが、これは主として、現金及び預金が619百万円減少、受取手形が14百万円増加、売上債権が649百万円増加したこと等によるものであります。

固定資産は、4百万円減少しておりますが、これは主として、有形固定資産が114百万円増加、無形固定資産が8百万円減少、投資有価証券が115百万円減少したこと等によるものであります。

流動負債は、104百万円増加しておりますが、これは主として、その他の内の未払金が31百万円増加、未払費用が55百万円増加したこと等によるものであります。

固定負債は、85百万円減少しておりますが、これは主として、長期借入金59百万円減少したこと等によるものであります。

純資産につきましては、30百万円増加し6,531百万円となり、この結果、自己資本比率は80.1%(前事業年度末80.2%)となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想の修正については、本日(2019年2月13日)公表しました「2019年3月期通期業績予想(非連結)の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (2018年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2018年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,264,108	644,897
受取手形	※ 14,547	※ 28,789
売掛金	1,114,481	1,781,259
完成工事未収入金	55,654	38,341
有価証券	285,000	285,000
商品及び製品	120,598	87,540
仕掛品	3,132	3,603
未成工事支出金	1,801	—
原材料及び貯蔵品	46,678	75,568
その他	41,798	57,289
流動資産合計	2,947,803	3,002,289
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	1,094,353	1,091,110
機械及び装置(純額)	81,020	124,363
土地	3,052,641	3,052,641
その他(純額)	30,284	104,421
有形固定資産合計	4,258,299	4,372,536
無形固定資産	91,450	82,701
投資その他の資産		
投資有価証券	773,011	657,837
その他	36,508	42,067
投資その他の資産合計	809,520	699,904
固定資産合計	5,159,270	5,155,142
資産合計	8,107,073	8,157,431
負債の部		
流動負債		
買掛金	57,716	89,459
工事未払金	49,061	81,344
短期借入金	500,000	500,000
1年内返済予定の長期借入金	101,700	84,725
未払法人税等	49,157	32,482
賞与引当金	30,500	19,470
その他	211,566	297,178
流動負債合計	999,701	1,104,659
固定負債		
長期借入金	59,300	—
再評価に係る繰延税金負債	204,782	204,782
その他	342,519	316,678
固定負債合計	606,602	521,460
負債合計	1,606,303	1,626,120

(株)パンクリートコーポレーション(5277) 2019年3月期 第3四半期決算短信(非連結)

(単位:千円)

	前事業年度 (2018年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2018年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,295,906	3,295,906
資本剰余金	2,999,252	2,999,252
利益剰余金	260,237	370,658
自己株式	△370,594	△370,594
株主資本合計	6,184,801	6,295,222
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	308,301	228,421
土地再評価差額金	7,667	7,667
評価・換算差額等合計	315,968	236,088
純資産合計	6,500,769	6,531,311
負債純資産合計	8,107,073	8,157,431

(株)パンクリートコーポレーション(5277) 2019年3月期 第3四半期決算短信(非連結)

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)
売上高	2,580,487	3,270,810
売上原価	1,936,764	2,562,172
売上総利益	643,723	708,637
販売費及び一般管理費	416,854	522,745
営業利益	226,868	185,892
営業外収益		
受取利息	6,646	6,973
受取配当金	7,477	8,488
仕入割引	2,278	2,806
その他	4,688	3,922
営業外収益合計	21,090	22,191
営業外費用		
支払利息	2,943	2,673
休止固定資産諸経費	1,299	2,146
その他	13	553
営業外費用合計	4,256	5,374
経常利益	243,702	202,709
特別利益		
投資有価証券売却益	12,073	—
固定資産売却益	690	—
特別利益合計	12,763	—
特別損失		
投資有価証券評価損	35,726	—
減損損失	7,412	—
特別損失合計	43,138	—
税引前四半期純利益	213,326	202,709
法人税等	26,431	30,524
四半期純利益	186,894	172,185

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(四半期貸借対照表関係)

※ 四半期会計期間末日満期手形

四半期会計期間末日満期手形の会計処理については、当四半期会計期間末日が金融機関の休日でしたが、満期日に決済が行われたものとして処理しております。当四半期会計期間末日満期手形の金額は、次のとおりであります。

	前事業年度 (2018年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2018年12月31日)
受取手形	15,822千円	2,246千円

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期累計期間(自2017年4月1日至2017年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	四半期損益 計算書計上 額 (注)
	スパンクリート 事業	不動産事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,346,482	234,005	2,580,487	—	2,580,487
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	2,346,482	234,005	2,580,487	—	2,580,487
セグメント利益	106,141	120,727	226,868	—	226,868

(注) セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期累計期間(自2018年4月1日至2018年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	四半期損益 計算書計上 額 (注)
	スパンクリート 事業	不動産事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,037,433	233,376	3,270,810	—	3,270,810
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	3,037,433	233,376	3,270,810	—	3,270,810
セグメント利益	107,899	77,992	185,892	—	185,892

(注) セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. その他

継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。